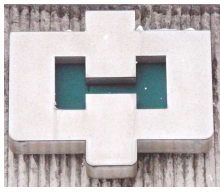


教育目標 「豊かな心で たくましく 自分の人生を切り拓く 生徒」

重点目標 「豊かな心 確かな学力 健やかな身体」



あ さ ひ こ  
朝 日 子

佐渡市立畑野中学校 学校だより

平成28年 12月2日(金) No.16

著・編 校長 加藤雄一郎 (TEL 66-2058)

## 生徒会役員選挙始まる 3人枠に5人立候補

次年度 の生徒会役員選挙の公示が11月8日に行われ、14日の立候補者受付締切には、生徒会長に1名、男子副会長に2名、女子副会長に2名の立候補者がありました。各役員が1名ずつの定員ですので、生徒会長は信任投票、副会長は男女とも投票になりました。信任投票でないのは数年ぶりだそうです。

今年度の生徒会をさらにレベルアップすべく立候補者してくれたのは、次(届け出順)のとおりです。公約も一緒に紹介します。

生徒会長 中村 さん(2年)「切磋琢磨～お互いを高め合っていく畑野中～」  
男子副会長 中村 さん(2年)「周りを気にしないで行動できる温かい学校」  
" 緒方 さん(1年)「当たり前前を当たり前前に行ける学校」  
女子副会長 青木 さん(2年)「粉骨砕身～みんなが創りあげる学校～」  
" 加藤 さん(2年)「日進月歩～日に日に成長していく生徒会～」

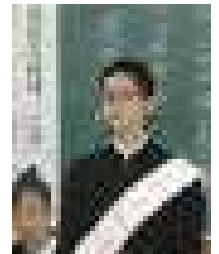
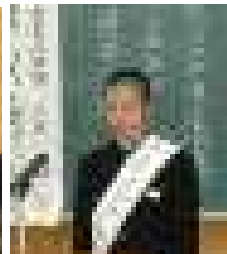
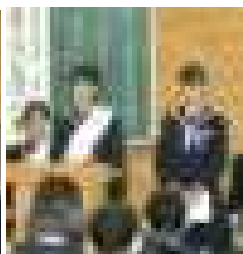
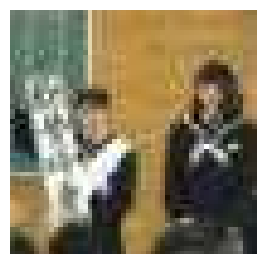
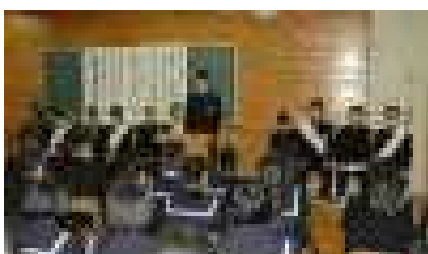
24日には、公約と具体的方策を示し、意気込みとやりたいことを表明しました。どれも頼もしい限りです。本日の投票日に向けて、選挙活動が行われました。朝は生徒玄関ホールで、昼休みと放課後も声が聞こえていました。



## 立会演説会熱弁振るう 公約・方策を堂々と発表

全校生徒 の前で、立会演説会が12月1日に行われ、立候補者が公約と具体的方策を堂々と伝えました。「よりよい学校」にするために、挨拶の大切さや地域貢献(プルトップ収集等)、行事での生徒の出番づくり、学習への取組等々方策の提案がありました。立候補者一人一人がほとんど原稿を見ることなく訴え、とても立派でした。推薦責任者からは立候補者の人柄や長所をエピソードを交え、生徒会のリーダーとしてふさわしい人物であると力強く語りました。

演説後の質疑応答では、多くの質問が出されましたが、立候補者は自分の言葉で誠実に答えていました。中には「自分の自信のあるところ、人に負けないところを一言で教えてください」という質問があり、「歌うこと」「声の大きさと発言力」「まじめさ」「何でも食べるところ」「気の強さ」と個性的な答えが返ってきて、その場が盛り上がりました。誰が当選しても、この5人が来年度の生徒会のリーダーであることに違いはないと感じました。今の畑野中を「よりよく」したい、活気のある学校にしたい、と熱い思いが伝わってきた立会演説会でした。



# 「思春期」ってどんなとき？

**1年生** は学級活動で、石川養護教諭から「思春期の身体と心の変化」について学びました。小学校時代の自分と比べた心の変化について、班で話し合い発表しました。また、2・3年生は自分が1年生のときを振り返って、今現在はどうでしょうか。家庭でも話題にしてみてください。ベスト5を紹介しましょう。

- 1位 イライラすることが出てきた
- 2位 迷いや不安が出てきた
- 3位 他人の気持ちを考えて行動できるようになった
- 4位 髪型や服装に気を遣うようになった
- 5位 親に世話をやかれるとうるさいと思うようになった

兄弟や親、先生にイライラしたり、何で自分がこんなにイライラしているのか自分でもわからなかったりしていませんか。自分はやろうと思っているのに、できない自分に実はイライラしていることがよくあります。自分ができないことを友達や親のせいにしていませんか。責任を外に向けて「悪者」を作ると、楽になった気がします。ですが、冷静に考えると自分の至らなさが原因であることが多いものです。人のせいではなく、自分自身に目が向くと格段に成長するチャンスになります。

また、親から言われると腹が立ったり、言われることがうるさいと感じられるということは、自立に向かっている証拠です。親から言われなくとも「わかっている」、いちいち言われなくてもできる、口出ししないです。1年生だけでなく、自分自身と周りの人とかかわりながら、心身ともに成長していることをとても嬉しく思います。

## 【授業後の生徒の感想】

- ・思春期はとても大切な時期だと分かりました。心の変化も大切なことが分かり、大人へのステップなんだと感じました。
- ・嫌なことがあったからといって他の人に当たるのではなく、自分でストレスを発散するように過ごせたらと思いました。
- ・自分の気持ちに向き合うことが大切なんだと感じました。イライラせずにリラックスしたいです。
- ・自分の行動を意識したり、相手の悪口を言ったりしない。
- ・自分の気持ちを相手に伝えて、感情をコントロールできるようになりたい。勉強をしっかりとって過ごしたい。
- ・思春期特有の感情はあるけれど、自分なりにストレスを発散して、毎日を笑顔で過ごしていくことも大切だと思いました。1日1日を大切に過ごしていきたいと思いました。

## 新人戦等の結果 ～部活も文化的活動も表彰多く～

11～12月の土・日に、各種目の佐渡市新人戦及び新潟地区新人戦が行われました。3年生が引退した後、2年生を中心に頑張って練習をしてきました。まだまだ荒削りですが、大会や練習試合を通して、上達しているのが分かります。これからの冬の練習が春の成果につながります。課題を見つけ、チーム一丸となって克服に向けて頑張りたいです。また、文化的（学習面）での表彰も多くありましたので紹介します。

### 〈新人戦〉

◇ 野球部	市新人野球大会	1回戦惜敗
◇ バスケット部	県新人バスケットボール大会市予選会	ベスト6
◇ 男子バレー部	市バレーボール1・2年生大会	4位
◇ 女子バレー部	市バレーボール1・2年生大会	優勝
	テレビ新潟杯新潟地区バレーボール大会	2回戦敗退
◇ バドミントン部	佐渡バドミントン新人大会	
	Aクラス（2年）ダブルス	優勝 榎・高橋
	Bクラス（1年）ダブルス	3位 中村・中村

### 〈その他の表彰〉

◇ 佐渡バレーボール協会	優秀選手	3年	土屋	
○ 佐渡市展ジュニア部門	書	教育長賞	2年	金子
○ 読書感想文				
佐渡地区審査				県審査
3年（課題読書）	一席	城家	『幸せ』と『これから』	→ 優秀賞
	二席	松田	『本当に『生きる』ということ』	→ 佳作賞
2年（自由図書）	一席	下峰	『マララさんから学んだこと』	→ 佳作賞
1年（ " ）	三席	河治	『真実を求め…』	
○ 税についての作文				
佐渡市教育長賞	3年	相田		

